

広報つくばみらい特別号【2022.1.1】

政策情報版

“みらい”の今を知っておこう

市民によりそい みらいに繋ぐまち

もくじ

- | | | | |
|---|---------------------|----|----------------|
| 2 | 市民によりそいみらいに繋ぐまち | 10 | みらいに向かって挑戦するまち |
| 4 | 安心して子育てができるまち | 12 | 安全安心を感じられるまち |
| 6 | みらいを担う子どもたちを応援するまち | 14 | コロナ対策 |
| 8 | 住み慣れた地域でいつまでも暮らせるまち | 15 | つくばみらい DX |

市民によりそう市政の実現に向けて

つくばみらい市では、市民の皆さんとの対話を重視した「市民によりそう市政」の実現に向けて歩みを進めてまいりました。令和元年度から各地域に伺い、市民の皆さんのご意見を直接お聴きしてきました。令和2年度までにいただいた623件のご意見やご要望のうち397件（64%）が解決に至りました。

市長との意見交換会「みらいを語るば meeting」^{ミーティング}は、新型コロナウイルス感染症の影響により開催を見送っていた期間がありましたが、令和3年11月に再開し、令和3年度中には、市内全地区を一巡します。

引き続き、「みらいを語るば meeting」をはじめとするさまざまな機会をとらえ、市民の皆さんからのご意見などをお伺いしてまいります。

図 地域推進課

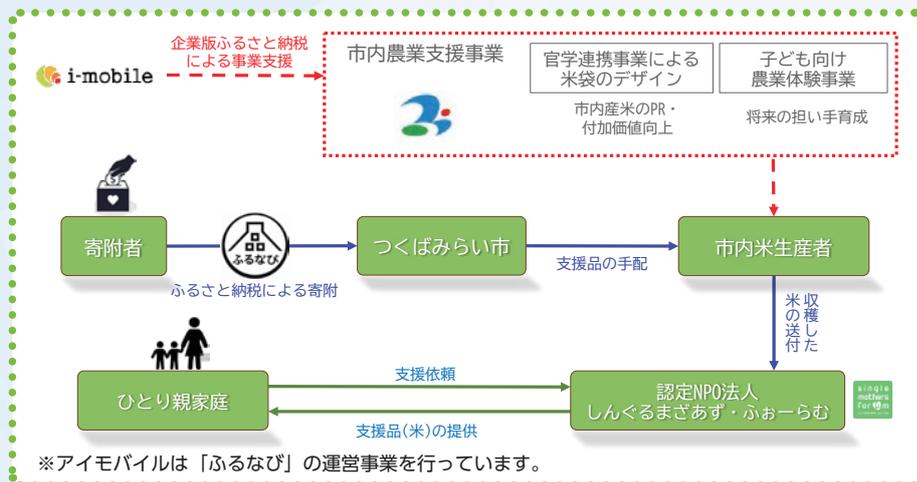


つくばみらい市長
おだがわ ひろし
小田川 浩

アイモバイルとの連携

アイモバイル社と連携し、ふるさと納税と企業版ふるさと納税を組み合わせた取り組みの実証実験を進めています。

ふるさと納税を活用したクラウドファンディングによる寄附金で購入した市内産米を、全国のひとり親家庭に届けることにより、コロナ禍で疲弊するひとり親家庭への支援だけでなく、市内産米のPRや販路拡大などを積極的に進めていきます。



みらい平郵便局で より便利に

みらい平市民センター1階にみらい平郵便局を誘致しました。新しい郵便局の開局で市民の皆さんの暮らしがさらに便利になりました。

今までは自転車で遠くの郵便局まで行っていたのですが、家の近くに開設したので、とても便利になりました。
(佐藤さん／70代男性)



電気バス

県内初！

つくばみらい市は、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」に取り組むことを宣言しており、目標実現のため県内初の『電気バス』をコミュニティバスとして導入しています。

完全電動のため、二酸化炭素などを排出することなく走行可能です。

図 都市計画課



新しい働き方ができる場

みらい平市民センター4階M・SPACEには、オンラインによる予約が可能で、テレワークなどにも利用できる個室を6部屋、設置しました。 図 市民窓口課

都内に通勤していましたが、テレワーク中心となったため、M・SPACEを利用しています。使用料が安く、通信環境も良いのでとても便利です。
(海老名さん／30代男性)



M・SPACE
平均利用率 **61.3%**

ふるさと納税

令和2年度総寄附額
約4億4000万円

令和3年度は
前年度より
寄附受入額が
約5.8倍

令和2年度
11月末
約1億2000万円

令和3年度
11月末
約7億1000万円

※令和3年11月作成

- ・寄附額が大幅UP！
- ・返礼品取扱事業者数増加で、市内事業者の販路拡大や、市特産品のPRにも！

返礼品数も
約2倍！

令和2年度
約340品

令和3年度
約750品

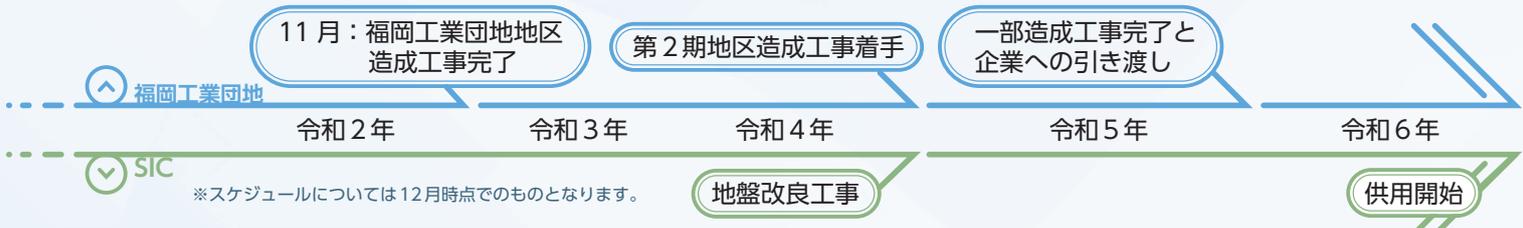
※令和3年11月作成

福岡工業団地、SIC、動き出す

図 プロジェクト推進課

福岡工業団地

福岡工業団地地区は令和2年度に造成工事が完了し、新たな産業の活動拠点として動き出しています。さらに、第2期地区の造成工事が令和4年度から開始される予定です。



SIC (スマートインターチェンジ)

現在用地買収の準備を進め、来年度からは地盤改良工事に着手します。周辺地域については、市の魅力を発信する新たなエリアとして、広域的な賑わいを創出するための拠点形成を目指しています。

安心して子育てができるまち

おやこ・まるまるサポートセンター

妊娠した時からずっと、ママやパパと一緒に考え寄り添った相談・支援を実施しています。



おやこ・まるまるサポートセンター内
子育て支援室「BLOOM」

子育て支援室の「ママ・パパかかりつけコーディネーター」や、ボランティアが地域の「おや・こ」の仲間になって、子育てに悩むあなたをひとりぼっちにさせません。
☒ おやこ・まるまるサポートセンター

今後は、乳児期における緊急時の「今」に手を差し伸べられる事業の実施など、子育て支援体制の強化を図っていきます。
やまざき
(山崎主任／おやこ・まるまるサポートセンター)



赤ちゃん全員を訪問

赤ちゃんが生まれたら、助産師や保健師がご自宅を訪問し、赤ちゃんの発育状況やママの健康状態をうかがったり、育児で困っていることや気になることなどの相談を受けています。

今後も、赤ちゃん全員のお宅への訪問を基本としながら、対面・非対面を問わず、育児への不安や、赤ちゃんの発育状態に合わせた適切なアドバイスを行います。

☒ 健康増進課

赤ちゃんの健やかな成長のため、安心して子育てできるよう、相談やアドバイスを行います！
(保健師・助産師／健康増進課)



産前産後家事代行等サポート事業

妊娠中や産後の体調不良、育児をサポートしてくれる人がいないなど、家庭の実情に応じて、担当者が一緒になってサポート内容を考えます。

子育て経験者による家事や育児のサポートなので安心です。

☒ おやこ・まるまるサポートセンター

おやこ・まるまるサポートセンターの開設にあわせてスタートした事業です。
利用者の方からは「子育て経験者の方に家事や育児を手伝ってもらえて、助かっています」との声をいただいております、やりがいを感じています。
のざわ
(野澤センター長／おやこ・まるまるサポートセンター)



こども食堂

こどもだけじゃない。誰でも利用できる地域食堂。

10月から、みらい平市民センターが加わり、市内6カ所で実施しています。皆さんのご利用をお待ちしています。 園 社会福祉課



一人暮らしの高齢者の方や乳幼児を連れた若いお母さんやお父さんの利用もあり、多世代交流を深める地域コミュニティづくりにも一役買っています。食事をともに楽しみ、おしゃべりを楽しみ、ときには悩みを話したり、食べることを通じて交流が生まれています。

（中村主幹／社会福祉協議会）



産婦人科誘致

産婦人科の開設は県内 10 年ぶり！

令和 4 年度富士見ヶ丘にオープン予定！

令和 2 年度に創設した「産科医療施設開設補助金」を活用して、「医療法人修英会 遠藤産婦人科医院（仮称）」の誘致が決定しました。

開設の前にも、同医院の遠藤豊英医師に市の事業やイベントにご協力いただきながら、「妊娠・出産・子育て期までの切れ目のない支援」の充実を図っています。

今後も同医院と連携しながら、子育て世代が安心して子を産み育てられる環境を整えていきます。

園 健康増進課



子育てを全力でサポート こどもの人口増加に繋がっています

合計特殊出生率が **高い！**

国や県と比較して
高くなっています！

※合計特殊出生率：
1人の女性が一生の間に
産む子どもの数に相当

つくばみらい市

1.65

国
1.34

茨城県
1.38

※人口動態統計、国勢調査より

年少人口割合が **高い！**

3年連続
県内 1 位！

※年少人口割合：
0歳～14歳の割合

つくばみらい市

15.5%

茨城県
11.8%

※茨城県常住人口調査
令和 3 年 4 月茨城県公表値より

年少人口割合が **上昇中！**

年少人口割合が上昇しているのは
県内でつくばみらい市だけ！

1.04

つくばみらい市

M市
-1.07

T市
-0.59

※茨城県常住人口調査、国勢調査より
(平成 27 年と令和 2 年の比較)

待機児童ゼロを目指して

みらい平地区に民間保育園を誘致し、令和 3 年 4 月から開園したことにより、令和 3 年 4 月 1 日時点での待機児童が 0 人となりました。

まだまだニーズのある 0、1、2 歳児のお子さんの保育環境をさらに充実させるため、同地区内に小規模保育施設を 2 施設誘致しました。(令和 4 年 4 月開園予定)

園 こども課



みらいを担う子どもたちを 応援するまち

グローバルな人材を育成するために

図 教育指導課

英検 3級相当の
割合 **UP!!**
※英検や IBA テスト
などで測定



平成 30 年度
43%

令和 2 年度
60%

講座で勉強したところが英検の試験に出題されたので、試験対策にもなりました。来年も講座があれば受講したいです。
(左から三船さん、豊島さん／谷和原中学校 2年、1年)

講座では、生徒たちは楽しく熱心に取り組んでいました。生徒たちには、英語を使って自分のやりたいことができるようになって欲しいです。
(ピーター先生／谷和原中学校 ALT)

子どもたちの英語力が 2年間で飛躍的に伸びています！

中学校では、夏季休業期間中にみらいイングリッシュパワーアップ講座を開催しました。小学校では、中学校の英語科の教員免許状を有する教員による専門的な英語教育を行っています。

ALT (外国語指導助手) とのチームティーチングで、ダイナミックで本物の英語の授業を展開



世界の文化を学ぶ授業

小絹中学校では、グローバルな人材育成の観点から、在バチカン市国日本国大使館職員とオンライン授業を実施し、バチカン市国の文化や時差、大使館の仕事などについて学びました。

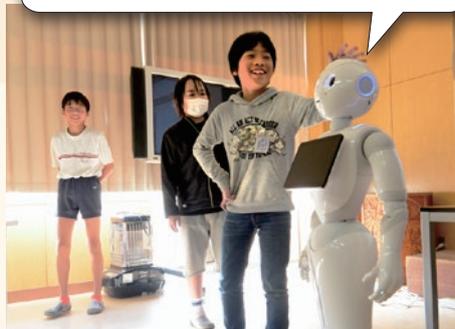
バチカン市国と日本との文化の違いを学ぶことができ、実際に現地にいる方に教えてもらうことで、すごく興味がわきました。将来は、日本だけではなく外国でも人のために働きたいです。
(左から野村さん、茅根さん／小絹中学校 1年)



ICT 教育環境の充実

GIGA スクール構想に伴い、全ての児童生徒がタブレット端末を活用しています。ICT 支援員配置などの学習環境の整備を進め、誰も取り残すことのない学習の実現に向けた取り組みを行っています。

各学校で、^{ペッパー} Pepper をタブレット端末で操作し、プログラミング的な思考を育む活動も行っています。



伊奈中学校では、タブレット端末を活用して、QR コードを使っての一斉学習・演習問題や課題に対するプレゼンテーションなどを行っています。生徒たちの回答をその場で確認し、生徒一人ひとりの学習の状況を把握できるほか、生徒たちが集中して取り組んだり生徒同士が協力しながら積極的に学ぶなど、先生・生徒どちらにもメリットがあります。
^{ながつか}
(長塚校長／伊奈中学校)



地域に密着した部活動

伊奈東中学校では、他の部活動に所属しながらでも、さまざまなスポーツライフを実現できる場としてゴルフ部を創設し、つくばみらい市出身のプロゴルファーである富山聡プロから定期的な指導を受けています。プロゴルファーの指導のほかにも、市内ゴルフ場での練習など地域と密着した活動を展開しています。

プロの人が分かりやすく教えてくれるので、初心者でもボールが飛ばせるようになりました。
^{にしだて}
(左から西館さん、^{かが}嘉賀さん／伊奈東中学校2年)



ゴルフ場で練習できる機会はなかなか無いので、とても恵まれた環境だと思います。ゴルフに興味を持つ子どもが増え、教え子からプロゴルファーが誕生すると嬉しいですね。
^{とみやま}
(富山さん／プロゴルファー)

みらい土曜塾が「学びたい」を応援

市内4カ所の小学校で毎月2回開催し、子どもたちが学習に取り組んでいます。子どもたちの学習を見守る計12名の学習指導員は、未来の先生を目指す9名の大学生や元教員の方々と、みらい土曜塾はみんなの学びの場となっています。

子どもたち一人ひとりにあった教え方を考えながら指導をするので、教員を目指すうえで良い機会になっています。
^{いなば}
(稲葉さん／みらい土曜塾指導員(大学4年))

教室のなかはとても静かで集中して勉強ができます。分からないところは、先生に質問すると、詳しく説明してくれるので分かりやすいです。
(小絹小学校5年生の子どもたち)



住み慣れた地域でいつまでも暮らせるまち



病院バスの運行

通院やお見舞いのための筑波学園病院への病院バスを無料で運行しています。昨年度の実証運行の結果を検証し、バス停の追加や運行ダイヤの見直しを経て、令和3年度から本格運行を開始しました。また、JAとりで総合医療センターへの病院バスも実証運行中です。

利用者の方には、病院バスが運行されるようになって便利になったと好評です。

関 都市計画課

3カ月に一度通院の際に利用しています。病院バスが運行する前は、自分で運転したりして通院していましたが、今は病院バスばかりにお世話になっています。今後も利用させてもらいます。(70代女性/小張在住)

病院バスは無料で利用できるのが交通費の負担がなく、とても助かっています。今後も利用したいです。(70代女性/狸穴在住)



移動スーパーで買い物を身近に



月曜日から土曜日の週6日、市内61カ所を巡回しています。ぜひ、ご利用ください。

関 介護福祉課

欲しいものを事前に連絡しておく、持って来てくれるのでとても便利です。

移動スーパーが来る時は、地区の方々が集まるので、みんなでお話しながら買い物ができて楽しいです。

(移動スーパー利用者の皆さん/北袋在住)





緊急通報システム見守りサポート



令和2年7月から新たに、65歳以上のひとり暮らしの方にご利用いただいていた緊急通報システムの安否確認と見守りの機能を強化しました。 関 介護福祉課

こんなサービスが無料で利用できます。

- ・センサーを設置して見守り
- ・月に1回オペレーターからのお元気コール、健康状態の確認や、健康に関するアドバイスなどが受けられます
- ・相談ボタンを押すだけで、健康や生活に関することなどの相談が可能
- ・24時間365日、ボタン一つで緊急通報、救急車の要請が可能
- ・救急車の要請があると、あらかじめ登録した家族などに、搬送先の病院や状況などを連絡

離れて暮らす娘に勧められて、見守りサポートの導入を決めました。

ボタン1つで救急車が呼べるので、一人暮らしでも安心して生活できています。
えんどう
(遠藤さん/80代女性)



運賃割引制度の新設・拡充

令和3年4月1日から、市民の方がより利用しやすいようコミュニティバスおよびデマンド乗合タクシーの運賃割引制度を拡充しました。今後も、妊婦の方や難病の方などに対する割引制度の拡充を検討していきます。 関 都市計画課

- コミュニティバス：新設『高齢者割引』
65歳以上で割引証の提示により運賃を100円に割引
- デマンド乗合タクシー：拡充『障がい者割引』
等級に関係なく手帳をお持ちの方全員を割引

割引のお手続きは
都市計画課まで！



ゴミ出し支援

病気や障がい、体力の衰えなどにより、歩くことが難しくなり集積所までごみを持っていけないお年寄りや障がい者の皆さんが、住み慣れた地域で生活が送れるよう、支援する取り組みを実施しています。これからも、高齢化社会が進むにつれて、必要な方に求められるサービスを提供していきます。

関 生活環境課

利用者には一人暮らしのお年寄りが多く、より安心して生活を送れるようになったとの声をいただいています。

おかた
(岡田主幹/生活環境課)



写真はイメージです



市の職員が週に1回ごみの収集に訪問希望者には呼び鈴を押して安否の確認

みらいに向かって挑戦するまち

みらい型農業を推進しています

園 産業経済課

農機シェアで新規就農サポート

(株)クボタと連携し全国で初めて「農機シェアリングサービス」を開始しました。農業の担い手が減少している中で、新しく農業を始めたい方の大きな負担となる農業機械などへの初期投資を軽減させることで、新規就農を後押しします。



1時間単位で24時間いつでも借りることができるので「朝から使えて便利」などの声を利用者からいただいています。実例のない中、全国で初めてこの事業に取り組んだつくばみらい市からは農業に対する強い思いを感じました。今後も市と協力しながら、市のポテンシャルを活かし、農業を盛り上げていきたいと思えます。
(千葉さん／(株)クボタ)



スマート農業で農作業を効率化

井関農機(株)と連携して、農作業のデータ化や労働力の削減を図るため、スマート農機を用いた取り組みを行っています。取り組み農家さんからは「田んぼの水の状態が携帯で見られるので楽になった」といった意見もいただいています。これからも、スマート農業の推進などを図りながら、品質の向上と持続可能な農業経営の実現に向けて積極的に取り組んでいきます。

就農したばかりでも品質の良い農産物が作れそう！



SPAD計を用いて生育ムラの調査を行っています。



水位センサーの活用で、農作業の効率化や負担の軽減に期待！



市民農園拡大

市民の方に農業への関心を持ってもらうため、市民農園を新たに28区画整備し、134区画に拡大しました。自宅で家庭菜園のできない方などへ、野菜を作る楽しさを味わえる場を提供しています。

隣の畑を借りている方や、近くの農家の方から、作り方を教わったり、多く収穫できた野菜をお裾分けしてもらったり、地域交流の場にもなっています。

また、子どもたちにとっても小さいうちから土に触れたり、収穫が体験できる良い環境だと思います。

(松山さん一家／陽光台在住)



米コンテストを開催

つくばみらい市は「谷原三万石」と呼ばれる関東有数の米どころです。

つくばみらい市のお米が、今後より一層評価され消費の拡大に繋げていけるよう、米コンテストを開催しました。米・食味鑑定士協会による米コンテストで



の食味分析の結果は、食味値平均 80 点以上でつくばみらい市のお米のおいしさが証明されました。

受賞者のお米は、ふるさと納税にも出品を予定しており、市内産米のおいしさを全国にアピールしていきます。

標準：65～75 点
良質：76～85 点
極上：86～100 点

つくばみらい市のお米は
良品質米でおいしい！

■つくばみらい市米コンテスト応募米の食味値

部門	食味値（評価）	
	最高値	平均値
コシヒカリ部門	86 点 （極上）	80.15 点 （良質）
一般部門 （コシヒカリ以外の米）	87 点 （極上） （銘柄：にじの きらめき）	81.20 点 （良質）

※第 23 回米・食味分析鑑定コンクール：国際大会 in 富士山の一次審査にて食味分析を実施

いつもの作り方で作ったお米で受賞したので、「普段からおいしいお米を作れている」という自信につながりました。

自分が作っているお米の評価を、データとして見るができる良い機会だったと思います。

いけだ
（池田さん／一般部門最優秀賞）



地域の人からアドバイスをもらったりしながら作ったので、「地域のお米」としてのレベルの高さへの評価だと思っています。

今回の結果を受けてつくばみらい市のお米の価値が高まってくれたら嬉しいです。

よこばり
（横張さん／コシヒカリ部門最優秀賞）

たかさごマルシェ・あさのいちを開催しています！

高砂熱学工業(株)との官民連携事業として、高砂熱学イノベーションセンターにて「たかさごマルシェ」を開催し、多くの来場者にお越しいただくことで、地域コミュニティの創出にも繋がりました。

毎月第 1 土曜日には、みらい平どんぐり公園にて、市内若手農業者グループ「つくばみらい 4H クラブ」が、生産者の顔が見える、安全安心な農産物を手にする場として、「あさのいち」を開催しています。来場者からは「毎月楽しみにしている」などたくさんの声をいただいています。



安全安心を感じられるまち



普段の対策

図 防災課

防災アプリの導入

防災アプリを新たに導入し、防災情報などいつでもどこでも閲覧できるようになりました。市民の皆さんからは、防災情報の他に自分が必要とする情報が配信され、高評価をいただいています。

- ・防災行政無線放送内容
- ・防災・防犯情報
- ・ハザードマップ
- ・気象情報
- ・河川の水位
- ・市からのお知らせ
- ・コロナ情報
- ・イベント情報 など



Android
の方はこちら



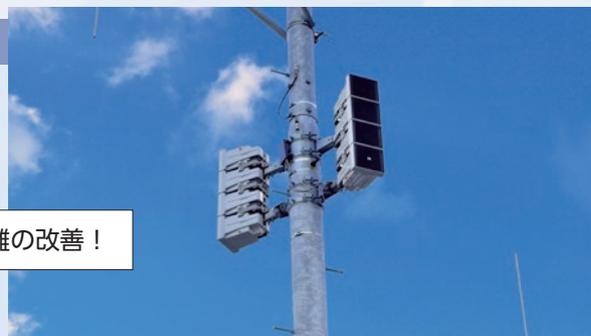
iPhone
の方はこちら



防災行政無線のデジタル化

防災行政無線デジタル化工事を行い、屋外スピーカーの性能を向上させ、情報がよりはっきりと、遠くまで届くようになりました。

音質、音達距離の改善！



有事の際は

図 防災課

寺院と連携協定（福祉避難所）

小張にある曹洞宗高雲寺と「災害時における福祉避難所の設置運営に関する協定」を締結しました。避難スペースとなる客殿は、配慮が必要な高齢者や乳幼児、妊産婦には非常に理想的な福祉避難所となります。

- ・約 55 平米の畳部屋
- ・トイレ、お風呂も完備！
- ・入り口にはスロープも



大規模災害にも対応

図 防災課

ムービングハウス協会との協定

（一社）日本ムービングハウス協会と「災害時における応急仮設住宅の建設に関する協定」を締結しました。

これにより、災害時における応急仮設住宅の設置が短期間で可能となり、慣れない避難所生活での疲労やストレスから起こる健康被害などのリスクを軽減することが可能となります。



コロナ禍でも安心

図 防災課

ゴルフ場との協定

茨城ゴルフ倶楽部・筑波カントリークラブ・取手国際ゴルフ倶楽部の3つのゴルフ場と「災害時におけるゴルフ場施設の利用に関する協定」を締結しました。この協定は、災害が発生し、市内の指定避難所だけでは避難者を受け入れきれなくなった場合などに、支援していただくものです。

- ・被災者の一時的な受け入れ
- ・入浴設備、食事の提供
- ・駐車場への車中泊避難 など



ゴルフ場は敷地が広く、広い駐車スペースやトイレもあります。車中泊避難に対応することで、コロナ禍でも安心して避難していただけます。厨房や浴室もあるので、十分に活用してもらえと思います。
しのはら
 (篠原さん／筑波カントリークラブ支配人)

高砂熱学工業(株)との協定

高砂熱学工業(株)との包括連携協定に基づき、避難所となる体育館内の空調に関する実証実験に取り組んでいます。

高砂熱学イノベーションセンター
 (富士見ヶ丘)



高砂熱学イノベーションセンターでは、災害時にもこんなことができます！

- ・太陽光発電などで24時間発電！
- ・スマホや電気自動車も充電できる！
- ・断水時は貯水している地下水が使える！

避難所整備

避難所の設営を円滑に行うため、ワンタッチテントを導入しました。

容易に避難スペースを確保し、ソーシャルディスタンスの確保やプライバシーの保護が可能となります。



空家対策

図 開発指導課

平成30年度から実施している空き家バンクは、これまでに6件の空家物件の登録があり、うち5件が成約となり空家を有効活用しています。



- 空き家バンクに登録すれば、
- ・家財処分 上限10万円の補助
 - さらに売買成立で
 - ・リフォーム 上限50万円の補助

経費の1/2まで

子どもたちの安全安心な通学を実現

県内初！

自転車保険加入料を市が負担

市立中学校生徒の自転車損害賠償保険の加入料を市が全額負担しています。これにより、保護者の方の経済的・精神的負担を軽減しました。

図 学校総務課



絹の台地区の通学路に「スムーズ横断歩道」を設置

車のスピードを抑える段差「スムーズ横断歩道」を通学路に設置する国の実証実験に、県内唯一の自治体として参加しました。

図 建設課



この冊子に使用している写真には、過去に広報つくばみらいに掲載したものが含まれます。

コロナ対策

ワクチン接種体制

新型コロナウイルスワクチン接種対策室を令和3年2月に設置し、柔軟に職員を配置するとともに、医師など関係機関との協力体制を早期に構築することで、接種開始当初から週4日の集団接種を中心に、医療機関での個別接種も併せて取り組んできました。

また、高齢者が接種会場へ足を運びやすくするために、市内を無料巡回バスで送迎しました。これにより、8月時点では、全国平均の1.5倍に近い速さで市民に寄り添ったワクチン接種を進めることができました。3回目の接種は、国の方針に沿って計画しています。引き続き、市民の皆さんがスムーズに接種を受けていただけるよう、接種体制を確保してまいります。

図 健康増進課



親切丁寧に案内してくれて、とてもわかりやすい接種の流れでした。無料バスまで出してもらって、とても助かりました。接種する機会を作ってくれてありがとうございます。(市民からの声)

ポイント還元キャンペーン

営業時間の短縮要請や不要不急の外出・移動の自粛要請などにより、影響を受けた市内の中小企業を支援するため、「キャッシュレス決済でお店を応援キャンペーン」を実施しています。

図 産業経済課

JPQR キャッシュレス決済

- ・感染リスクが低くて安心！
- ・スムーズ決済！

新しい生活様式に即した非接触への取組として、市内事業者のキャッシュレス化を推進しています。国で推進している、統一QR「JPQR」を導入した事業者に対して、1事業者あたり20,000円の助成金を支給しています。

図 総務課

県内最大の40%還元率！
事業者にも決済金額の10%支援！



コロナ禍で不安を抱える女性支援

新型コロナウイルス感染症の影響により、望まない孤独・孤立で不安を抱える女性の実態把握や要支援者に対する相談など、きめ細かい支援をNPO法人に業務委託し、実施しています。

図 地域推進課

- ①日用品などの無償配布を通じた実態把握
- ②市民活動まちづくりセンター（みらい平市民センター3階）を中心に相談窓口を開設
メール、LINE、専用ダイヤルでの相談にも対応可能
- ③望まない孤独・孤立で不安を抱える女性の居場所づくり

女性相談員の
対応で安心

高齢者フレフレ商品券で 外出を支援

フレイル予防に役立てていただけるよう、65歳以上の方へ市内の登録店舗で利用できる3000円分の商品券を配布しました。

※フレイルとは、加齢とともに運動機能や認知機能等の低下がみられることを指します。

図 介護福祉課



その他の主な支援



パルスオキシメーター貸与



高齢者世帯・ひとり親世帯
エアコン購入費助成



営業時間短縮等
関連事業者応援金



生理用品無料配布

感染症対策をして成人式を実施

今年も健康管理の徹底、当日の検温、マスク着用、「いばらきアマビエちゃん」への登録などの感染症対策を徹底して成人式を実施します。

参加者が安心して式典に出席できるように、来場者全員を対象に抗原検査を実施し、感染拡大防止を図ります。

図 生涯学習課



昨年度の様子



人生に一度きりの特別な式なので、コロナ禍でも開催できてうれしいです。しっかりと感染症対策をして、今年の成人式を行いたいです。

(とよしま 豊島さん／成人式実行委員長)



つくばみらい DX

図 秘書広報課



ヘンゲ HENNGE (株)と一緒に ICT を活用して子育てパパママに向けた新たなサービスを展開しました。

保育所の出欠連絡やお便りをスマホでできるようになり、子育て支援室ではオンラインで育児相談ができるようになりました。



今後は、子育て分野から全市民を対象とし、テクノロジーの技術でタイムリーに市民の声を聴き、地域課題を解決していく新たな取り組みを展開していきます。

引越しワンストップ サービス実証実験



図 市民窓口課

引越しに伴う手続きの負担軽減のため、令和4年度の実装を目指して、全国18市町村の1市として引越しワンストップサービス実証実験を行っています。

デジタル推進室設置

図 総務課



市ではデジタル・トランスフォーメーション (DX) を効果的に進めるため、4月に総務課デジタル推進室を設置しました。これにより、市民の利便性が向上し、行政運営の効率化などを効果的に実施することができます。

※ DX：進化したIT技術を浸透させることで、人々の生活をより良いものへと変革させるということ など

デジタルデバイドの解消

※デジタルデバイド：インターネットなどを使える人と使えない人との間に生じる格差

デジタル活用に不安のある高齢者の方などに向け、民間企業と連携したスマートフォンの操作相談会を開催しました。今後は行政サービスのオンライン手続きの方法などを学ぶスマホ教室の開催も予定しています。

図 総務課



LEBER

公立小中学校ですでに導入している体調管理アプリ「LEBER」を公立幼稚園3園にも今年度導入しました。「LEBER」を導入することで、毎朝の体温や体調の報告から、欠席の報告まで一括で行うことができ、朝の忙しい時間帯の保護者の負担を軽減することができます。

図 学校総務課

I LIVE IN TSUKUBA MIRAI.

100 年間、愛される地元をつくるために。

市では、I LIVE IN TSUKUBAMIRAI. を合言葉に、市民の皆さんがつくばみらいに住んでいることを誇りに思ってもらえるよう、プロモーション活動を行っています。100 人の市民がモデルのポスターなど、詳しくは右の QR コードへ。

